――情報通信システムセキュリティ小特集（英文論文誌 D）論文募集――

情報通信システムセキュリティ小特集編集委員会

情報通信システムの多様化と高度化は著しく，新たなサービスが毎日のように提供されています．PC やスマートフォンはもちろんのこと，音楽や映画を楽しむ AV 機器，日常生活における家電，オフィスで使う OA 機器，工場の FA 機器，自動車，列車，船，飛行機のような輸送機器，発電所の制御システム，病院や家庭の医療機器のような多種多様な装置が，電話網，Bluetooth／無線 LAN，CAN 等の車載ネットワーク，インターネット等の様々な通信ネットワークで相互に接続され高度な機能を実現しています．更に，AI，ブロックチェーン，クラウドコンピューティングが結びついて新たなサービスが高速に進化発展する時代のまっただ中を我々は生きています．高度な情報通信システムは情報流通のコストを下げ，様々な恩恵をもたらす一方，新たなセキュリティ上の課題も指摘されています．情報通信システムセキュリティ研究会は，これらの多種多様な情報通信システムに対して，主に情報セキュリティに関わる広い視野での幅広い研究成果を発掘することを目的として「情報通信システムセキュリティ小特集」（2020 年 7 月号掲載）を企画します．本小特集では，情報通信システムセキュリティに係る有用な発想と技術を発掘し，普及に貢献するために，既知技術の統合であっても，組合せの新しさや開発したシステムで得られる知見の新しさ等も新規性の基準として考慮するシステム開発論文も歓迎致します．

1. 対象分野

情報通信システムセキュリティに関する理論から実際的応用まで．特に新しく発展しつつある分野（IoT，AI，機械学習，ビッグデータ，ブロックチェーン，アドホックネットワーク，P2P，センサネットワーク，RFID，無線 LAN，モバイル，ホームネットワーク，エッジ／フォグ／クラウドコンピューティング，SNS）に関するセキュリティ技術，アクセス制御，コンテンツセキュリティ，DRM，CDN，プライバシー保護，電子商取引，PKI，セキュリティアーキテクチャ，セキュリティプロトコル，耐タンパー技術，セキュア OS，セキュリティ評価・認証，など

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします．ページ数は，原則として，論文の場合は刷り上がり 8 ページ，レターの場合は刷り上がり 2 ページを標準とします．初期投稿時のレターの最大ページ数は 4 ページです．標準ページ数を超えると，掲載料が急に高くなりますので御注意下さい．

詳細は Information for Authors（http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html）を御参照下さい．査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合があります．

3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます．以下の手順で御投稿下さい．

電子情報通信学会 Web サイト（https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx）から，投稿原稿 PDF 及びソースファイルの登録をし，著作権譲渡手続きをお願いします．電子メールや郵便での御投稿は受付できません．初期投稿時に，編集可能な論文本体（TeX/Word），図，著者の写真，biography も投稿する必要があります．なお，登録時には必ず“Journal/Section”で［Special-IC］Information and Communication System Security を選択して下さい．［Regular-ED］を決して選択しないで下さい．

4. 論文投稿締切日　2019 年（令和元年）8 月 2 日（金）厳守

5. 問合せ先

金岡　晃　東邦大学

E-mail：akira.kanaoka@is.sci.toho-u.ac.jp

6. 小特集編集委員会

編集委員長　大石和臣（静岡工大）

幹　事　金岡　晃（東邦大），白石善明（神戸大），須崎有康（産総研）

委　員　石原靖哲（南山大），上繁義史（長崎大），笠間貴弘（NICT），金井　敦（法政大），上土井陽子（広島市大），菊池浩明（明治大），古原和邦（産総研），高倉弘喜（NII），中里純二（富士通），橋本正樹（情報セキュリティ大），廣友雅徳（佐賀大），福光正幸（北海道情報大），三宅　優（KDDI 総研），宮地充子（阪大），宗藤誠治（日本 IBM），森　達哉（早大），八木　毅（NTT セキュリティ・ジャパン），山内利宏（岡山大），吉岡克成（横浜国大），渡辺　大（日立製作所），Chun-I FAN（National Sun Yat-sen Univ., Taiwan），Chung-Huang YANG（National Kaohsiung Normal Univ., Taiwan），Heung Youl YOUM（Soonchunhyang Univ., Korea）

7. 付記

＊締切日を厳守して下さい．

＊招待論文を含む全ての採録論文については 2020 年 3 月頃に掲載料をお支払い頂くことになります．2020 年 4 月 15 日までに支払いが完了しない場合には，採録取り消しとなります．

＊投稿に際しては，著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません．ただし招待論文に関してはこの限りではありません．必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については，投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい．入会の案内はこちらを御覧下さい．http://www.ieice.org/jpn/join/index.html

＊オープン化：2017 年 1 月号以降に掲載された本会英文論文誌 D のすべての論文を，J-STAGE を通じて全世界の読者へ公開しています．

＊2020 年 1 月号以降に掲載される論文には，本会の多くの論文誌で適用することができるオープンアクセスオプションを適用することができなくなります．（オープン化は，2020 年 1 月以降も継続する予定です．）

＊オープン化とオープンアクセスオプションに関する詳細は，“Information for Authors”（http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html）を御参照下さい．

＊オープン化とオープンアクセスオプションに関しては，予告なく変更されることがあります．